

## 再評価個表

<b>事業名</b>	農道整備事業 (農山漁村地域整備交付金事業)	<b>事業主体</b>	愛媛県
<b>施設・工区名等</b>	歌仙2期地区	<b>事業箇所</b>	今治市菊間町松尾
<b>事業主旨</b>	本事業は、今治市西部の旧菊間町に位置する越智西部広域農道（松尾・池原）と県道玉川菊間線（河之内）を結ぶ延長3.1kmの基幹農道であり、地域農業の振興と併せ農村地域の生活環境の改善を図る。		
<b>再評価の実施理由</b>	「事業採択後10年が経過して継続中」の交付金事業		

### 1. 地域の概要

<p>当地域は、愛媛県の北東部、高縄半島の中央に位置し、温暖な気候と水はけのよい土壌や地形を生かした農業が営まれており、平野部では野菜や果樹（みかん・キウイ）の生産が盛んで、山間部では養豚や養鶏などの畜産業が多数営まれているなど、多様な農業が開かれている地域である。</p> <p>なかでも畜産では、松尾集落の山間部にある仙高牧場が第42回日本農業賞大賞（JA全中・JA都道府県中央会・NHK主催）を受賞し、経営や技術の改革に意欲的に取り組んでいる。また、平野部の柑橘栽培においても、安定した品質や収量確保のため、紅マドンナのハウス団地（1.2ha）が建設（H28.3月完成）されるなど、近代的な農業に積極的に取り組んでおり、将来を展望した農業が盛んに営まれている地域である。</p>
--

### 2. 事業概要及び事業経緯

<b>事業採択</b>	平成19年	<b>完成予定</b>	平成31年
<b>用地着手</b>	平成20年	<b>工事着手</b>	平成21年
<b>全体事業費</b>	1,123百万円（うち用地費：67百万円）		
<b>(1) 事業概要</b>	<p>           ≪農道整備≫ 延長1,000m（全体 3,100m）            道路工 延長1,000m（全幅員 7.0m）            （うち橋梁工 51m）         </p> <p>歌仙農道は、全延長3,100mを3区間（地区）に分割して（1期：800m、2期：1,000m、3期：1,300m）事業を実施している。</p>		
<b>(2) 事業経緯</b>	平成19年度 事業採択 平成20年度 用地着手 平成21年度 工事着手 平成23年度 橋梁工（十二石橋）完成		

### 3. 事業の必要性及び整備効果等

#### (1) 事業の必要性（整備効果）

##### ① 運搬経費の節減

積極的な営農が展開されているなか、生産された農作物の市場への輸送は、地域を横断している県道や農免農道を利用しているが、主要幹線である県道（玉川菊間線）は道路幅員が狭いうえに（3.5m程度）ヘアピンカーブが多く、大型車両の通行や離合が困難で危険を伴うため、当地域の関係者は農産物の輸送や畑などへの往来に多大な労力と時間を要している状況であり、安全で円滑な輸送と流通が可能となる基幹的農道の整備が急務である。

##### 【整備効果】

- 営農に係る走行経費の節減      ○一般交通等の経費節減

##### ② 営農条件等の向上

本地区の沿線には、2つの営農団地（半田<sup>はんた</sup>、毛田<sup>けた</sup>）があり、甘平や紅マドンナ等の晩柑類が、管理の行き届いた農地で栽培されている。農道が完成すれば、通作や農作物の運搬の時間短縮及び労力の節減など、営農条件が大きく向上するとともに、空いた時間や労力などを規模拡大や多様な品種栽培、施設栽培の導入など幅広い農業へ転換することにより、さらなる高度な営農展開が期待できる。

また、農道工事に伴って生じる谷部を埋め立てた造成地を、松尾集落の営農集団（坊ちゃんクラブ）がキウイ団地化する計画で、農道に隣接した園地へ入れる便利さを有効に活用した先進的な果樹栽培を営む予定であり、農道の完成は担い手確保にもつながる。

##### 【整備効果】

- 営農条件の向上      ○担い手の確保

#### (2) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・平成17年1月 12市町村による町村合併が行われ、現在の今治市となっている。（旧今治市、朝倉村、玉川町、波方町、大西町、菊間町、吉海町、宮窪町、伯方町、上浦町、大三島町、関前村）
- ・歌仙農道推進委員会（平成23年6月発足）により、事業推進の地元体制は整っている。
- ・TPP大筋合意により、価格競争等が懸念される中、産地の中核を担い手や営農意欲の高い農家を支援し、産地基盤を一層強化する必要がある。

#### 4. 事業の進捗状況及び進捗の見込み

(うち用地費) H27末投資事業費	(67百万円) [進捗率: 100%] (事業費換算) 828百万円 [進捗率: 73.7%] (事業費換算)
<b>(1) 事業の進捗状況</b>	
<p><b>1期地区：延長800m</b> 平成12年度に採択され、平成22年度に工事が完了し、今治市への譲渡手続きを終え、現在は受益者に対して本区間の供用を開始している。</p> <p><b>2期地区：延長1,000m</b> 平成19年度に事業着手し、平成27年度までに用地買収を全て完了。 起点から十二石橋までの108mが完成し、路体工L=169mが舗装のみ未施工で、現在、路体工L=377m（暫定断面）が工事中となっている。 (27年度末進捗率74%)</p> <p><b>3期地区：延長1,300m</b> 平成23年度に事業着手し、平成27年度末時点の用地買収率は概ね90%。 これまでは、調査測量設計及び用地買収補償を先行して進め、工事は終点部から着手し、平成28年度からは、2期終点部をあわせて起点部にも着手する予定となっている。 (27年度末進捗率16%)</p>	
<b>(2) これまでの整備効果</b>	
<p>1期事業の起点部（広域農道と接続）から、2期事業区域にある半田<sup>はんだ</sup>地区の樹園地まで繋がっている既設農道と接続されたことにより、通作や農作物等の運搬時間が短縮されるとともにその労力が大きく節減されている。</p>	
<b>(3) 今後の事業進捗の見込み</b>	
<p>用地買収は全て完了しているため、予算確保に向け今後も引き続き国に対し強く要望していく。</p>	

#### 5. 事業の投資効果（費用対効果分析）

<b>(1) 費用便益比</b>	
C：総費用＝4,114百万円	
・事業費	3,603百万円
・その他	511百万円
B：総便益＝4,802百万円	
・営農に係る走行経費節減便益	3,232百万円
・一般交通等経費節減便益	1,600百万円
・維持管理節減便益	△ 30百万円
$B/C = 4,802 / 4,114 = 1.16$	

## 6. コスト縮減や代替案立案等の可能性

路体工事に必要な盛土材は、他工事の建設発生土を有効に活用しコスト縮減を図った。

## 7. その他

愛媛県農山漁村地域整備計画（28年3月修正）での位置付け

- ・えひめの食料供給力強化と担い手育成・確保プラン（その2）において当事業が、「愛媛県の多くの農地が基盤整備の遅れにより生産性が低く、食糧供給力の強化や担い手の育成・確保に大きな支障となっていることから、基盤整備により生産性が向上した農地の確保、食料供給力の強化や担い手の育成・確保を図るための事業」として位置付けられている。

## 8. 対応方針（素案）

本事業を『継続』としたい。

歌仙2期地区農道は、終点が紅マドンナや甘平などの高級柑橘を栽培している毛田<sup>けた</sup>営農団地に接続される計画であり、また3期地区の完成と併せれば、農作物等の運搬・流通が円滑になるなど、地域農業に不可欠であることや、河之内集落の生活環境向上にも繋がるため、事業を継続としたい。

また、平成31年度には事業を完了できる見込みである。